

クリスマスの輝き

クロー・ウエスト

ウィルフレッド・ピーターソンは、彼のストーリー「天使に色を塗りなおす」の中で、こんなふうに語っています。

ある骨董品屋の棚の奥に、少年の手を握っている天使の置き物が、まるで忘れ去られたかのように置かれていました。すすと埃にまみれ、壺や皿や飾り物が雑然と並ぶ中に埋もれていたのです。店を見て回っていた一人の男性が、その置き物を見つけて手にとりました。その時、彼はインスピレーションを受けました。忘却の中から救い出して、修復し、クリスマスの装飾品という名誉を与えてあげよう。

家に帰ると地下の作業場で、彼は天使と子供の置き物にきらきらした白いペンキを塗りました。それから天使の翼と少年の髪の毛を輝く金色にすると、一筆一筆が魔法のような効果をもたらしました。古く、すすにまみれた像は消えてなくなり、輝かしく新しい像となったのです。彼の目の前で、美しさを放つ置き物に生まれ変わったのでした。

その人はペンキを塗りながら思いました。これこそ、クリスマスに人々に起こることではないかと…。一年が終わると、人はその苦勞で垢と埃にまみれる、しかしクリスマスが来ると、また愛と喜びと平和で塗り

替えをしようという気持ちがいってくるのです。

天使を塗り替える。人間の生涯の仕事、それは、埃と汚れの中にただとどまることはせず、何度転んでも勇敢に起き上がること。

天使を塗り替える。人は理想や夢、目的を失ったりしなくていいのです。新たなる希望をもって、いつもそれらを再び輝かせることができるのですから。

この物語は、クリスマスに、人生が特別な輝きを放つことを思い起こさせてくれます。クリスマスは、愛と希望のメッセージを携えてやってきた小さな赤ん坊の奇跡から始まります。家族にとって、クリスマスは、愛する人たちと共にその絆と幸福を祝う時です。そして、一人であれ、誰かと一緒にあれ、イエスがしてくれたことに思いをはせ、イエスが与えてくれた祝福に感謝する時に、クリスマスは完全なものとなります。

クリスマスは特別な時。私たちは、神がこの世界全体のためにして下さったこと、そして、私たち一人一人のためにして下さったことを喜びます。神は、自分では得ることのできない新しい資質で私たちを「塗り替え」、天使が約束したように、私たちに心の平和を与えて下さいます。そして、すべての過ちや失敗をゆるし、私たちを、神の子供、イエスの兄弟姉妹として受け入れ、神を知ることから来る喜びを感じさせて下さいます。私たちはクリスマスによって生まれ変わるのです。



12

Vol.4-6